

心豊かな世代が育つ

童話の里づくり

415

—シリーズ— あなたの人権・わたしの人権

「相手を勇気づける言葉」

くす星翔中学校2年

中藪 歩花

「この前、AちゃんがBちゃんの悪口を言っていたよ。」

「もうAちゃんと仲良くするのはやめよう。」

と、話しているのを聞いたことがあります。

その時、私は「Aちゃんって、人の悪口を言う人なんだ。」と思っただけで、話していた人に共感も反論もしませんでした。

Bちゃんの悪口を言っていたというAちゃんは、学年の中ではちょっとこわい存在ではあったのですが、その後Aちゃんが意地悪されるといふことも特になく、大きいじめに発展するということもありませんでした。

あとから聞いた話では、Aちゃん

はBちゃんの悪口など言っておらず、Aちゃんの話聞いていた人の聞きまちがいだったそうです。その後、話を聞きまちがえた人は、AちゃんとBちゃんに謝り、三人とも仲良くまりました。

私は、「AちゃんがBちゃんの悪口を言っていた」と、何の根拠もなく他の人に言うのはよくないことだと思います。

今回のように聞いた人の勘違いで二人の関係をこじらせる原因にもなってしまう可能性があるからです。また、悪口を言われた人は、仲良しから言われたことがショックで、人を信用できなくなるかもしれません。

反面、自分が聞き違い、嘘の情報を流してしまったと気付いた時に、勇気を出して謝ることも大切だと感じました。

勇気を出して謝った友だちのことをすごいと思ったと同時に、それを

許したAちゃんとBちゃんも素晴らしいと思いました。

このような経験を通して、友だちに対する接し方によって、友だち自分への接し方も変わることがわかりました。

何気なく言った一言が相手の心を傷つけ、一生忘れられないような言葉になってしまうこともあるかもしれません。逆に、

「頑張つてね。」
のたった一言で相手を勇気づけることもできます。

その一言がやる気を起こさせ、不思議な力を発揮することにつながることもあります。

皆さんは、相手の心を傷つける言葉と相手を勇気づける言葉のどちらを使いたいですか。

もちろん私は相手を勇気づけられる言葉をたくさん使いたいと思います。

私は陸上競技をしているのですが、先輩や後輩、そして友だちに応援してもらったり、家族に励ましてもらったりすることがよくあります。

先日の大会の時です。

私はゴールの直前で相手に追いつかれてしまい、「もうダメだ。」とあきらめかけました。

でも、その時、

「最後まであきらめないで頑張れ。」

「ラスト、ファイト！」

という応援で、私はやる気をとり戻し、最後まであきらめずに走ることができました。

応援してもらったことで、私の心が大きく変わったように、言葉には計り知れない力があるんだということを実感しました。

これからは、私がみんなを応援し、勇気づける番です。

相手を勇気づける言葉を使って多くの人の力になりたいです。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

